

SDGs達成に向けた取組みチェックリスト

事業者名: 木下兄弟株式会社

・基本項目は25項目全てに、チャレンジ項目は25項目のうち5項目以上に具的な取組みを記載してください。
・「企業」や「社内」とあるものは、NPO法人や個人事業主等はそれぞれの形態に応じて、読み替えてください。
・【予定】の項目は1年以内に【〇年〇月実施】として、具体的取組みを記載のうえ、提出してください。

(様式第2号)

分類	No.	チェック項目	基本	チャレンジ	具体的な取組み (※事業者が記載する欄)	主なSDGs(17のゴールと169のターゲット)																																
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17																
組織・公正な取引	1	【内部管理体制】 ・経営理念及び経営目標を社内でも共有、実践している。	●		・経営理念を明文化し、経営者は従業員に対しあるべき姿を説明し、毎日の朝礼時に全員で唱和している。 ・従業員は経営理念に則った行動に日々努めている。								8	9																							17	
	2	【法令遵守】 ・法令遵守の考えが社内に浸透し、法令を確実に遵守する体制・仕組みを構築している。	●		・経営者は毎日の朝礼時において全従業員に対し法令遵守の重要性を発信している。																																	16
	3	【公正な競争】 ・不正競争行為に関与しない方針を掲げ、社員に周知している。	●		・経営者は会社として公正な取引に努め、全従業員に向けて重要性を発信している。 ・企業理念に信頼を掲げ毎朝朝礼にて唱和している。																																	16
	4	【組織体制】 ・企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対応する担当や専門部署などの体制を整備している。	●		・自社のパソコン等機器修理専門部署にて、自社の活動が社会・環境に及ぼす影響を把握し対応している。																																	16
	5	【知的財産保護】 ・知的財産の保護に取り組んでいる。	●		・知的財産の保護に関する教育を行っている。 ・データを復旧する際、知的財産の侵害にあたるものは復旧しないようにしている。									8.2 8.3	9																							
	6	【個人情報保護】 ・個人情報を適切に管理している。	●		・個人情報となるものは施錠付保管庫に保管する等情報漏洩事故防止対策を行っている。 ・不正アクセス防止の為、事業所にUTMを設置し、全てのPCにセキュリティソフトを導入している。																																16	
	7	【ステークホルダーとの対話】 ・ステークホルダー(※)との対話により、自社の活動がステークホルダーに及ぼす影響を把握し、適切に対応している。(※利害関係者:消費者、投資家等及び社会全体)	●		お客様に対して:HPIにて各種お問い合わせ(相談・要望・苦情)などの声に対応している。(https://www.systems-support.jp/)地域社会に対して:SNSにて情報セキュリティの重要性や、環境に配慮した製品やサービスを選択するよう情報発信を行っている。																																	16 17
	8	【サプライチェーン管理】 ・サプライヤー、事業パートナー等と、人権侵害の防止、生物多様性及生態系への悪影響の防止、倫理面での適切な対応(ハラスメント・汚職・贈収賄防止)について認識を共有し、共に取り組んでいる。	●		一般社団法人八代青年会議所に所属し、人権侵害の防止・ジェンダー平等・環境保護活動・コンプライアンス勉強会等に参加している。					5					8		10			12	13	14	15	16	17													
	9	【災害や事故への備え】 ・地震や水害などの自然災害や事故などに備え事業継続計画(BCP)を策定し、訓練や見直しを行っている。	●		BCP対策を策定している。 BCP対策認定企業の取得を目指している。																																	16 17
	10	【事業承継】 ・事業承継に関する検討・対策を行っている	●		キャッシュフロー経営講座等を従業員も受講しており、事業承継に関する対策を行っている。																																	17
	11	【公正な貿易】 ・フェアトレード商品の調達に取り組んでいる。	●									1	2																									
労働・人権	12	【差別の禁止】 ・性別、年齢、障がい、国籍、出自などによる差別や各種ハラスメントを防ぐ体制が整備され、社内で差別や人権侵害がないことを確認している。	●		・雇用、教育、昇進・登用、福利厚生など、あらゆる雇用条件及び職場環境において、差別しない体制・運営(相談窓口の設置・ハラスメント研修)を徹底している。																																16.1 16.2 16.7	
	13	【労働安全衛生】 ・業務中の事故等を防ぐため、安全で衛生的な労働環境の整備に取り組んでいる。	●		6Sを徹底し、動線の確保・終業時の整理整頓を行っている。 入退出時の手指消毒、接客時のマスク着用、飛沫防止シールドの設置、次亜塩素酸水噴霧式空気清浄機を設置し、職場の衛生環境整備を行っている。											3																						
	14	【公正な待遇】 ・雇用形態に関わらず、同一労働同一賃金等の原則に沿って対応している。	●		・従業員(正社員・パート社員)の公正な待遇を行っている。																																	
	15	【ワークライフバランス】 ・働き方の見直し等により、過度な長時間労働を防止し、家庭と仕事の両立を図るためのワークライフバランスを推進している。	●		・従業員(正社員・パート社員)の公正な待遇を行っている。																																	
	16	【人材育成】 ・適切な能力開発、教育訓練の機会を従業員に提供している。	●		・研修体制の整備や必要経費の支給により、外部研修の受講や各種資格の取得を奨励している。																																	
	17	【健康経営】 ・従業員が心身ともに健康を維持できるよう対策を講じ、生産性の向上に取り組んでいる。	●		・毎日の朝礼時に交通事故等への注意喚起や健康増進への取組みの促進を行っている。(定期健康診断受診の徹底とインフルエンザ予防接種費用会社補填)												3																				17	
	18	【ダイバーシティ経営】 ・多様な人材(女性、外国人、障がい者、高齢者等)が、十分に活躍できる環境の整備に取り組んでいる。	●		・業務運営や昇進・昇格等に、性別などの違いによる差別的待遇はない。																																	
	19	【新しい生活様式への対応】 ・新型コロナウイルスをはじめとする感染症対策としても有効なテレワークや時差出勤、ウェブ会議等を導入している。	●		・ウェブ会議の実施により感染防止を徹底している。																																	
	20	【デジタルトランスフォーメーション(DX)の推進】 ・ICTやAIを活用したデジタル化やオンライン化等のDXの推進により業務の効率化やビジネスモデルの変革に取り組んでいる。	●		・売買取引書類や名刺管理等の電子化に取り組んでいる。 ・社員へのノートPC配付等IT投資によりテレワークを推進している。 ・クラウドファウンの導入によりICTを活用したデジタル化を進めている。																																	
	21	【プライト企業】 ・プライト企業に認定されている。	●																																			

SDGs達成に向けた取組みチェックリスト

事業者名: 木下兄弟株式会社

・基本項目は25項目全てに、チャレンジ項目は25項目のうち5項目以上に具体的な取組みを記載してください。
 ・「企業」や「社内」とあるものは、NPO法人や個人事業主等はそれぞれの形態に応じて、読み替えてください。
 ・【予定】の項目は1年以内に【〇年〇月実施】として、具体的取組みを記載のうえ、提出してください。

(様式第2号)

分類	No.	チェック項目	基本	チャレンジ	具体的な取組み (※事業者が記載する欄)	主なSDGs(17のゴールと169のターゲット)																			
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17			
環境	22	【環境汚染予防】 ・廃棄物や有害化学物質の適切な管理、及び処理に取り組んでいる。	●		産業廃棄物処理業者に委託し、適切に処理している。			3.9		6.3					11.6	12.4		14.1	15.1						
	23	【エネルギー】 ・電力やガソリンなど、自社のエネルギー使用量を把握し、その削減に取り組んでいる。	●		・簡易計算シート等を用いてエネルギー使用量を算出し把握し、LEDの使用を徹底しオフィスの節電の取組みを行っている。 ・簡易計算シート等を用いてエネルギー使用量を算出し把握し、社用車の燃料軽減の取組みを行っている。							7.3					13								
	24	【温暖化対策】 ・自社の温室効果ガスの排出量を把握し、排出の抑制に取り組んでいる。	●		・簡易計算シート等を用い温室効果ガス排出量を算出し把握し、使用していない機器の電源をコンセントから抜く、エアコンを必要以上に使用しない、PCモニターを節電モードで使用する等対策を行っている。		2.4						7.2 7.3 7.a			12.4	13	14	15						
	25	【生物多様性】 ・自社活動が環境(生物多様性や生態系等)に悪影響を及ぼさないように配慮している。	●		・事業及び従業員の活動において、廃プラやレジ袋などの使用削減に努めている。 ・環境に配慮した製品、サービスの提供を通じて、生物多様性の保全に努めている。 ・リユース、リファビッシュPCを提案・提供することで環境への負荷を減らし持続可能な社会の実現に貢献している。 ・保守、修理を行うことで製品の寿命を伸ばし環境へ負荷をかけないようにしている。					6.6									14	15					
	26	【効率的な資源利用】 ・ごみを減らし、資源を有効的に繰り返し使うため、発生抑制(リデュース)、再使用(リユース)、再生利用(リサイクル)に取り組んでいる。	●		・リユース、リファビッシュPCを提案・提供することで環境への負荷を減らし持続可能な社会の実現に貢献している。 ・保守、修理を行うことで製品の寿命を伸ばし環境へ負荷をかけないようにしている。										9.4		12.2 12.4 12.5		14.1	15					
	27	【水の管理】 ・熊本の水資源の質と量の保全に取り組んでいる。	●		・事業所内設備に節水器具を設置している。		2.4				6.1 6.3 6.4 6.6					11.5			14.1 14.2 14.3	15			17		
	28	【環境に配慮した製品等】 ・環境に配慮した製品の購入や製品の開発・製造に取り組んでいる(グリーン購入、リサイクル製品認証等)。	●		・リユース、リファビッシュPCを提案・提供することで環境への負荷を減らし持続可能な社会の実現に貢献している。 ・保守、修理を行うことで製品の寿命を伸ばし環境へ負荷をかけないようにしている。												12.4 12.5	13	14	15					
	29	【食品ロスの削減】 食品ロスの削減に取り組んでいる。		●			1	2			6.4							12.3		14	15			17	
	30	【緑の安全管理】 ・壁面緑化や植栽など緑の創出と保全、管理に取り組んでいる。		●	・店舗前に花のプランターを設置している。 ・商店街振興組合の緑化整備事業、景観保護事業に積極的に参加している。												11.6 11.7		13.1 13.3		15			17	
	31	【エネルギー効率の見直し・再生可能エネルギーの利用】 ・高効率機器の導入等によるエネルギー使用率の改善または再生可能エネルギーの利用や供給に取り組んでいる。		●	・社内の全てのパソコンにSSDを使用し、効率的に業務を行うことによりエネルギーを無駄に使用しないように努めている。								7.1 7.2 7.3 7.a		9.4		11.5		13.1 13.3						
	32	【森林資源の循環利用に向けた取組み】 ・“伐って、使って、植えて、育てる”の持続的な森林利用への取組みを推進している。		●	・商店街振興組合、青年会議所の緑化整備事業に参加している。						6						11.3 11.4 11.5	12.2	13		15				
	33	【植林等の取組み】 ・植林等の森林整備活動に取り組んでいる。		●	・商店街振興組合、青年会議所の緑化整備事業に参加している。						6.1 6.3 6.6						11.3 11.4 11.5	12.2	13		15				
	34	【海洋ごみ】 ・環境中で分解しにくいプラスチックの使用削減等、海洋ごみ、海洋汚染の防止削減に貢献している。		●	・河川の清掃事業に参加し、プラスチックゴミの海洋流出の防止に貢献している。													12.2 12.5		14					
	35	【環境に配慮した交通手段】 ・電車やバスなどの公共交通機関の利用や、電気自動車や水素自動車などの環境にやさしい自動車の使用を促進している。		●	・社用車にハイブリッド車を一部使用している。											9.4		11.2		13.1 13.3					
	36	【2050年CO2排出量実質ゼロへの取組み】 ・2050年CO2排出実質ゼロを目指し、計画的にCO2削減に取り組んでいる。		●									7.1 7.2 7.3 7.a		9.4		11.6 11.a	12.8	13						17.2

SDGs達成に向けた取組みチェックリスト

事業者名: 木下兄弟株式会社

・基本項目は25項目全てに、チャレンジ項目は25項目のうち5項目以上に具体的な取組みを記載してください。
 ・「企業」や「社内」とあるものは、NPO法人や個人事業主等はそれぞれの形態に応じて、読み替えてください。
 ・【予定】の項目は1年以内に【〇年〇月実施】として、具体的取組みを記載のうえ、提出してください。
 (様式第2号)

分類	No.	チェック項目	基本	チャレンジ	具体的な取組み (※事業者が記載する欄)	主なSDGs(17のゴールと169のターゲット)																				
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17				
製品・サービス	37	【製品・サービスの安全性と品質】 ・製品・サービスの安全性や品質を確保する仕組みを構築している。	●		・製品・サービス使用時に想定されるリスクの洗い出しと対策を実施している。			3.9						9			12.4									
	38	【ユニバーサルデザイン】 ・障がい者、高齢者に特定せず、誰もが利用しやすいサービス提供や環境整備を行っている。	●		・作業内容、使用方法について高齢者や、知識の乏しい方にも分かりやすく説明を行っている。 ・障がいをお持ちの方には障がいの程度によって入店の補助、買い物の補助等を行っている。											9.1	10	11.7							17	
	39	【地域資源】 ・地産地消を推進し、熊本県産の原材料を優先的に使用している。		●				2.3 2.4				7.3	8	9			11.a	12.3	13	14	15				17	
	40	【木質化の取組み】 ・自社の執務室等の天井や床、壁等の内装や外壁等に木材を使用し、木質化を推進している。		●	・商品陳列台、受付などに木材を使用している。							7						12.2	13.1		15					
	41	【社会課題解決】 ・社会課題を解決するための製品・サービスの開発・展開に取り組んでいる。		●	・環境に負荷をかけないよう、リユース品リファビッシュ品を販売している。	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17				
	42	【攻めの農林水産業】 ・地域における産学官連携等による新たな品種開発を促進するなど、地域レベルで農林水産業の生産能力向上に努めている。		●				2.3 2.4						8.2	9.2 9.4		11.a	12.2			14	15			17	
持続可能な社会・地方創生	43	【地域への参画】 ・自治活動や福祉活動、防災活動や寄付、ボランティアなど社会貢献活動に積極的に取り組んでいる。	●		・青年会議所に所属し、防災、青少年育成、SDGs推進、歴史文化の発信、まちづくり事業などに参画している。 ・商店街振興組合に所属し、地域振興、清掃ボランティア活動を行っている。	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17				
	44	【防災、減災、レジリエンス(自助)】 ・過去の地震や水害などの災害を教訓に、事業への被害を防止・軽減するため、ハザードマップを確認し、避難行動計画や事前防災対策を進めている。	●		・緊急連絡網の作成、ハザードマップを確認し避難行動を全従業員で共有している。				4							11.5		13.1				16				
	45	【防災、減災、レジリエンス(共助)】 ・地域防災の担い手としての認識を持ち、防災士、水防団員、救助救急等の必要な技能を持つ社員を育成したり、地域消防団の活動に参加している。		●	・青年会議所活動にて熊本地震、令和2年7月豪雨災害の復興ボランティア活動に参加している。	1.5			3	4						10.2	11.5		13.1				16	17		
	46	【防災関連商品の開発・販売】 ・防災関連商品の開発・販売を促進している。		●	・データバックアップシステムを提供することで、企業のBCP対策を後押ししている。										9		11	12	13.1							
	47	【SDGsの普及啓発】 ・環境問題や人権問題をはじめとした社会課題の解決に向け、SDGsの普及啓発や教育機会の提供を行っている。		●	・青年会議所活動にてSDGsの普及、啓発を行っている。 ・青年会議所主催のSDGsセミナー、勉強会等への参加。	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17				
	48	【インターンシップ等の受入れ】 ・職場体験、インターンシップの受入れ、職場関連授業の実施など、地域の児童や学生に対し、職業の学びの場を提供している。		●	・専門学校生のインターンシップを、積極的に受け入れている。				4					8.6		10.2									17	
	49	【若者の地元定着等】 ・若者の県内就職を促進する取組みを行っている。		●						4.4				8.5 8.6											17	
	50	【農林水産業の担い手確保】 ・子どもに対する農林水産業教育を行うなど、地域における農林水産業従事者の確保に取り組んでいる。		●				2		4.3 4.4 4.5				8.6		10.2		12	13	14	15			17		

・基本項目は25項目全てに、チャレンジ項目は25項目のうち5項目以上に具体的な取組みを記載してください。
 ・「企業」や「社内」とあるものは、NPO法人や個人事業主等はそれぞれの形態に応じて、読み替えてください。
 ・【予定】の項目は1年以内に【〇年〇月実施】として、具体的取組みを記載のうえ、提出してください。